

自然やふるさとを大切に育てる心を養う
津別小学校の3・5年生に木に触れて学ぶ木育授業を実施

9月16日、津別小学校の3年生・5年生を対象に、児童の木材に対する親しみや木の文化への理解を深めることを目的とした木育授業が行われました。

講師に木工デザイナーの煙山泰子さんを招いて実施され、生徒たちは木を通じて多くのことを学びました。

津別町では、小学校3年生・5年生、中学校1年生を対象に年3回木育授業の時間を設けており、今回は今年2回目の授業でした。小中学校の木育授業は、平成21年度



▶役場の林政係担当者から木の太さを測る道具の説明を受ける3年生の児童

より津別町の事業として始めてから今年で12年目になります。

今回の授業で、3年生は上里を訪れました。役場林政係担当者の説明を受け、天然林や人工林の観察を行いました。また、自分たちで木の太さを測るなど直接触れて自然を感じました。

5年生は加賀谷木材の工場を見学し、木が製品に加工されるまでの工程を学びました。加賀谷雅治代表取締役社長が工場案内し、経木についての説明などを行いました。



▶加賀谷木材・加賀谷社長の案内で木材加工の工程を見学する5年生の児童

国勢調査の回答はお済みですか？

回答は10月7日までにお願いします



国勢調査
2020



- 国勢調査は、2020年（令和2年）10月1日現在、日本に住んでいるすべての人及び世帯が対象です。
- 9月中旬から、調査員がみなさまのお宅を訪問し、調査書類をお配りしています。
- 回答は、10月7日までに、できる限りインターネットでお願いします（郵送も可能です。）。
- 調査員による回収を希望する場合は、津別町役場の国勢調査担当窓口へご連絡ください。
- 10月7日までに回答が確認できない場合は、調査員が回答のお願いに伺います。
- 国勢調査の結果は、災害時に必要な物資を備えたり、コンビニの出店計画に利用されるなど、わたしたちの生活の身近なところに役立てられています。
- 国勢調査では、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、調査員はマスクを着用してお伺いします。
- 万一、調査書類が届いていない場合や、追加の調査票が必要な場合（5人以上の世帯など）は、津別町役場の国勢調査担当窓口へご連絡ください。

インターネット回答期間

9/14(月) → 10/7(水)

調査票(紙)での回答期間

10/1(木) → 10/7(水)

インターネット回答なら、
24時間いつでもかんたんに3ステップで回答できます。
(①アクセス ②ログイン ③回答)

国勢調査については、「国勢調査2020総合サイト」をご覧ください。

<https://www.kokusei2020.go.jp/>



令和2年国勢調査津別町実施本部 国勢調査担当窓口
津別町役場 住民企画課企画係 電話76-2151(内線227)

総務省・北海道・津別町

地域おこし協力隊隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことを
つづります。

無症候性アルツハイマー病

鈴木 仁

グループホームほのほの勤務。北海道ポッチャ協会公認審判員・普及指導員、日本障がい者スポーツ協会公認スポーツ指導員

認知症予防の運動療法の実践者という資格を持つ関係で、認知症については、いろいろ勉強をしています。アメリカの研究で、無症候性アルツハイマー病という話があります。アメリカの90歳台の修道女の方が脳のCT写真を撮影すると、アルツハイマー病の脳の萎縮が見られたのですが、認知症は発症していないというケースがあるそうです。この研究の結果として、認知症になりにくい要因として、二つが挙げられています。一つが子供の時代の教育。これは子供のころはとうの昔なので、どうしようもありません。もう一つが学習をすることだそうです。

また、別の研究では、アメリカの鉛の精錬工の方を追跡調査したところ、認知症の発症する方としない方の違いとして挙げられたのは、読解力だそうです。

いろいろな本を読む、テレビなどからの情報は一度自分の中で考えるなど、この読解力を身につければ、認知症にはなりにくいということですね。何かに興味を持ち、常に勉強することで、脳の活性化を図るということでは、参考になると思います。

何か、継続して勉強を続けてみませんか。無症候性アルツハイマー病になると、認知症になりません。